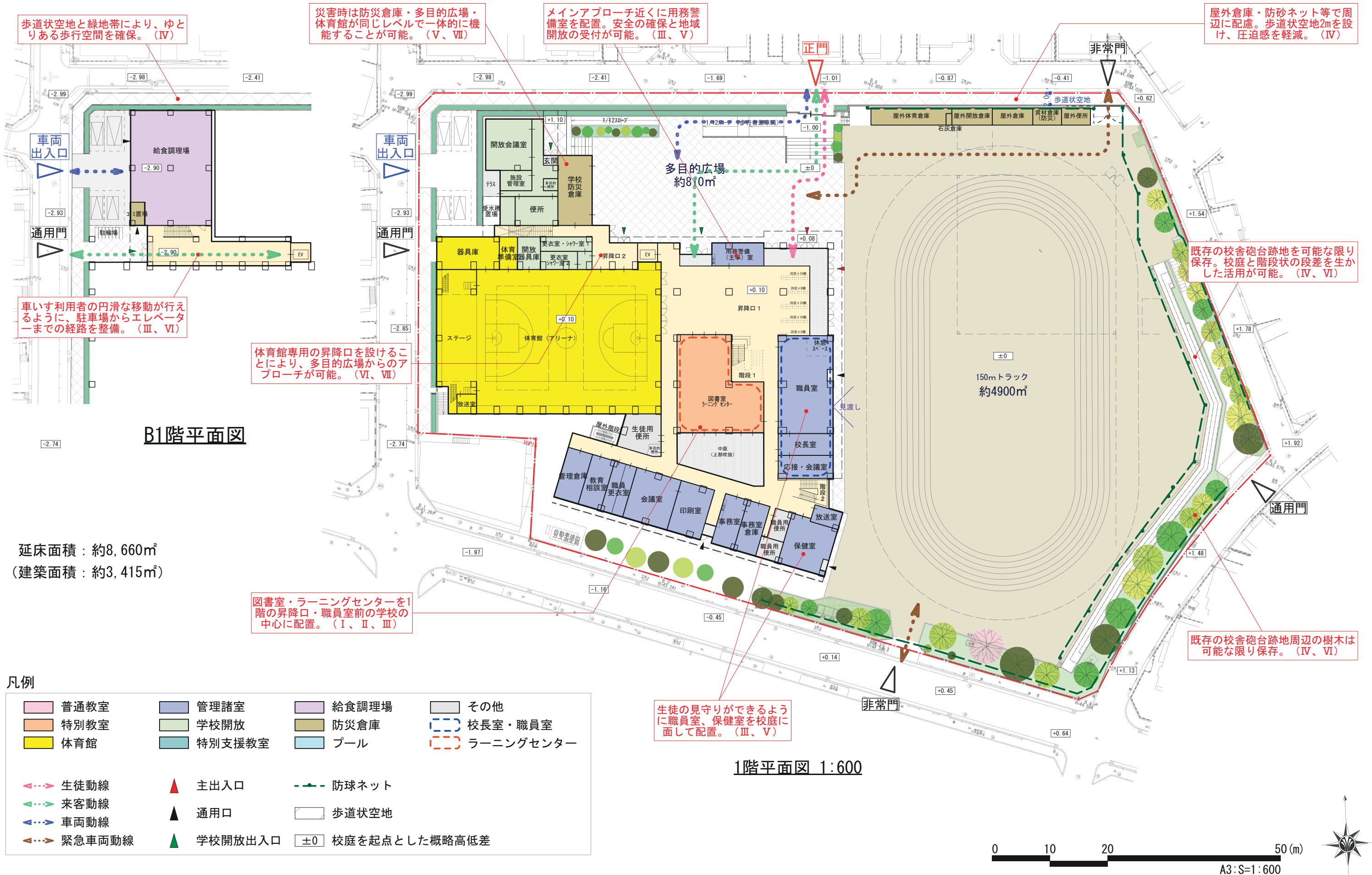


平面計画 (案) B①



歩道状空地と緑地帯により、ゆとりある歩行空間を確保。(IV)

災害時は防災倉庫・多目的広場・体育館が同じレベルで一体的に機能することが可能。(V、VII)

メインアプローチ近くに用務警備室を配置。安全の確保と地域開放の受付が可能。(III、V)

屋外倉庫・防砂ネット等で周辺に配慮。歩道状空地2mを設け、圧迫感を軽減。(IV)

車いす利用者の円滑な移動が行えるように、駐車場からエレベーターまでの経路を整備。(III、VI)

体育館専用の昇降口を設けることにより、多目的広場からのアプローチが可能。(VI、VII)

既存の校舎砲台跡地を可能な限り保存。校庭と階段状の段差を生かした活用が可能。(IV、VI)

図書室・ラーニングセンターを1階の昇降口・職員室前の校庭の中心に配置。(I、II、III)

生徒の見守りができるように職員室、保健室を校庭に面して配置。(III、V)

既存の校舎砲台跡地周辺の樹木は可能な限り保存。(IV、VI)

凡例

普通教室	管理諸室	給食調理場	その他
特別教室	学校開放	防災倉庫	校長室・職員室
体育館	特別支援教室	プール	ラーニングセンター
生徒動線	主出入口	防球ネット	
来客動線	通用口	歩道状空地	
車両動線	学校開放出入口	±0	校庭を起点とした概略高低差
緊急車両動線			

